



# 山形広域都市圏の「1日」の動き

## 山形広域都市圏 パーソントリップ調査の結果

山形市では、平成29年にパーソントリップ調査をはじめて実施しました。

パーソントリップ調査とは、ある1日を対象に

「どのような人が」「いつ」「どのような目的で」「どこからどこへ」「どのような交通手段で」

移動しているのかを調べる調査であり、

都市計画や交通計画などこれからのまちづくりに役立てていくものです。

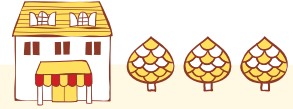
調査は、平成29年10月から11月にかけて実施しました。

山形広域都市圏(山形市・天童市・上山市・山辺町・中山町)の5市町にお住まいの方の中から、

住民基本台帳より無作為に選ばれた方を対象に調査票を配布。

23,100人分の回答が得られました。





# 1

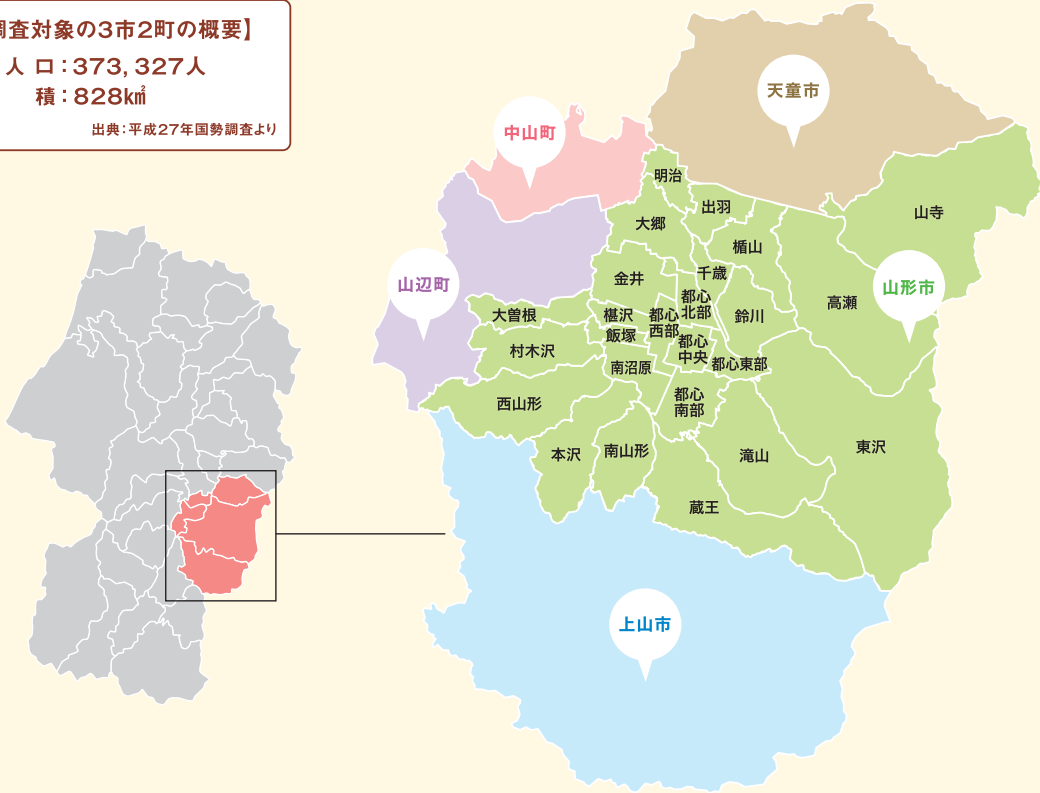
## 調査圏域

山形広域都市圏の3市2町（山形市・天童市・上山市・山辺町・中山町）です。

【調査対象の3市2町の概要】

全人口：373,327人  
面積：828km<sup>2</sup>

出典：平成27年国勢調査より



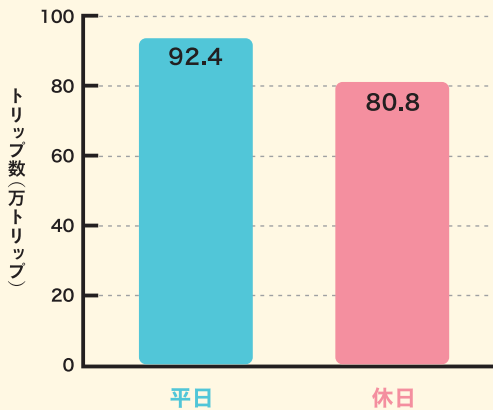
# 2

## 都市圏総トリップ

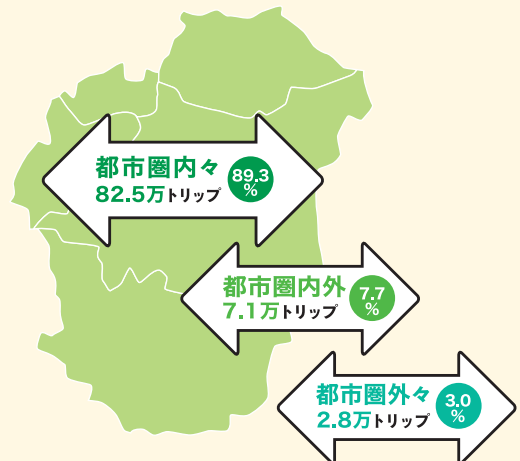
1日に発生する総トリップ数は、平日で約92万トリップです。

- ・調査対象となる3市2町の5歳以上人口は約36万人ですが、都市圏の総トリップ数は平日約92万トリップ、休日は約81万トリップとなっています。
- ・総トリップ数のうち、9割弱が都市圏の中での動きになっています。

平日・休日別の都市圏総トリップ数



総トリップ数の内訳（平日）



用語説明



**トリップ**

人がある目的（例えば、通勤や買物など）を持って、ある地点からある地点へ移動する単位を指します。



# 3

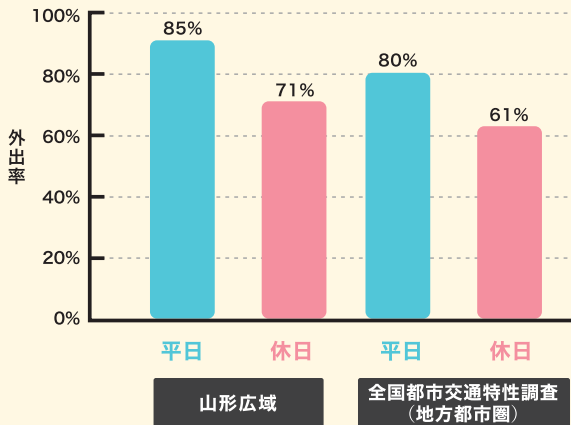
## 外出率・一人あたりトリップ数



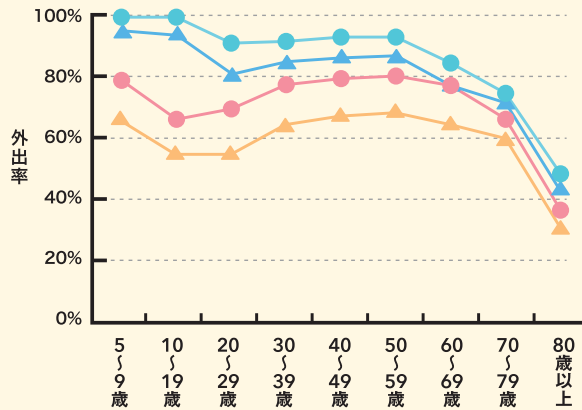
平日と休日を比べると、平日の方が外出する人の割合が高くなっています。

- ・外出率(居住人口のうち外出した人の割合)は、平日85%、休日71%であり、全国都市交通特性調査の地方都市圏の平均値と比べて高くなっています。
- ・高齢者は外出率が低下する傾向があります。

平日・休日別の外出率



年齢階層別の外出率



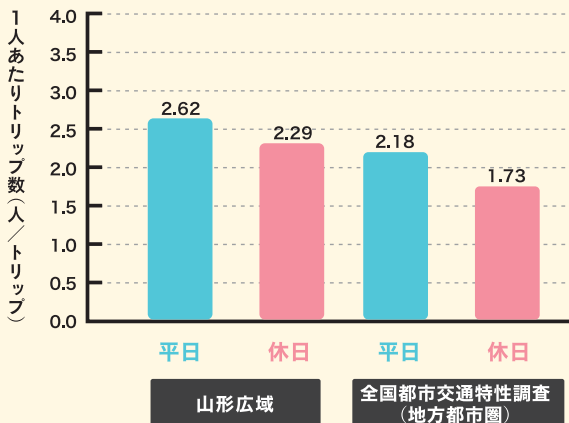
出典:平成27年全国都市交通特性調査(国土交通省)



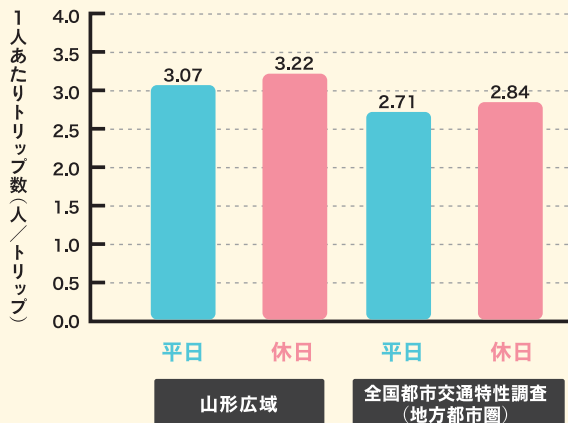
1人あたりトリップ数は高く、活動的です。

- ・人口1人当たりトリップ数、および外出者1人当たりトリップ数、いずれも全国都市交通特性調査の地方都市圏の平均値と比べて高くなっています。

人口1人当たりトリップ数



外出者1人当たりトリップ数



出典:平成27年全国都市交通特性調査(国土交通省)

用語説明



### 全国都市交通特性調査

- ・全国70都市を対象に、外出率や人口一人あたりトリップ数、代表交通手段構成比などの基本的な交通特性を把握する調査です。国土交通省が主体の調査で、直近では平成27年に実施されています。
- ・本パンフレットでは、全国都市交通特性調査の地方都市圏の平均値と比較して、山形広域都市圏の特徴を整理しています。



# 4

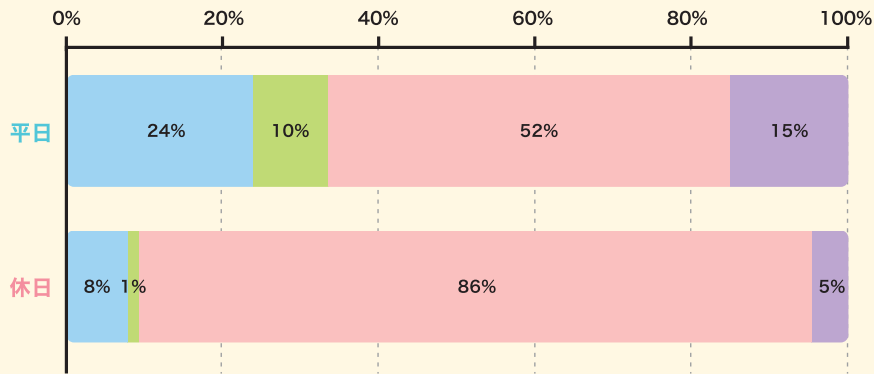
## 目的から見たトリップの特性

休日は私事目的のトリップの割合が多くなります。

- 目的別のトリップの割合で見ると、平日は通勤・通学目的が約3割を占め、買物などの私事目的が約半数を占めています。
- 休日になると私事目的のトリップの割合が多くなり、約9割を占めるようになります。



目的構成比

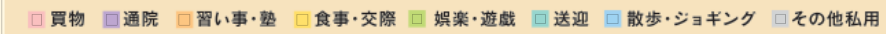
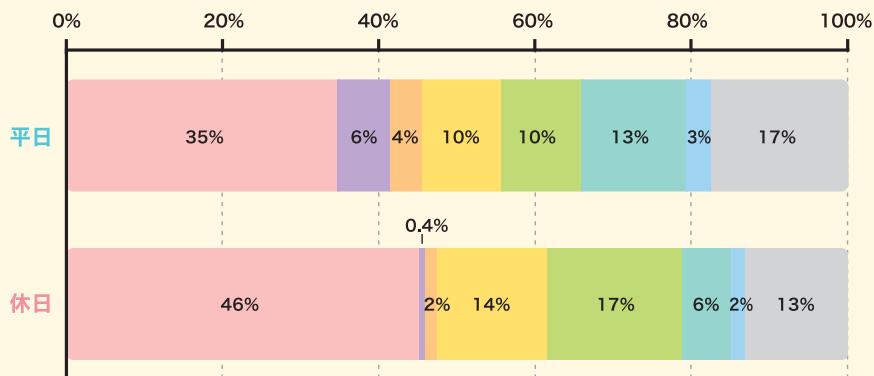


※帰宅目的と目的不明のトリップは集計対象外



- 私事目的の内訳で見ると、平日・休日ともに買物目的が最も多くなっています。
- その他にも多様な私事目的で移動しています。

私事目的の内訳



※4P以降の構成比のグラフは、小数点以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

# 5

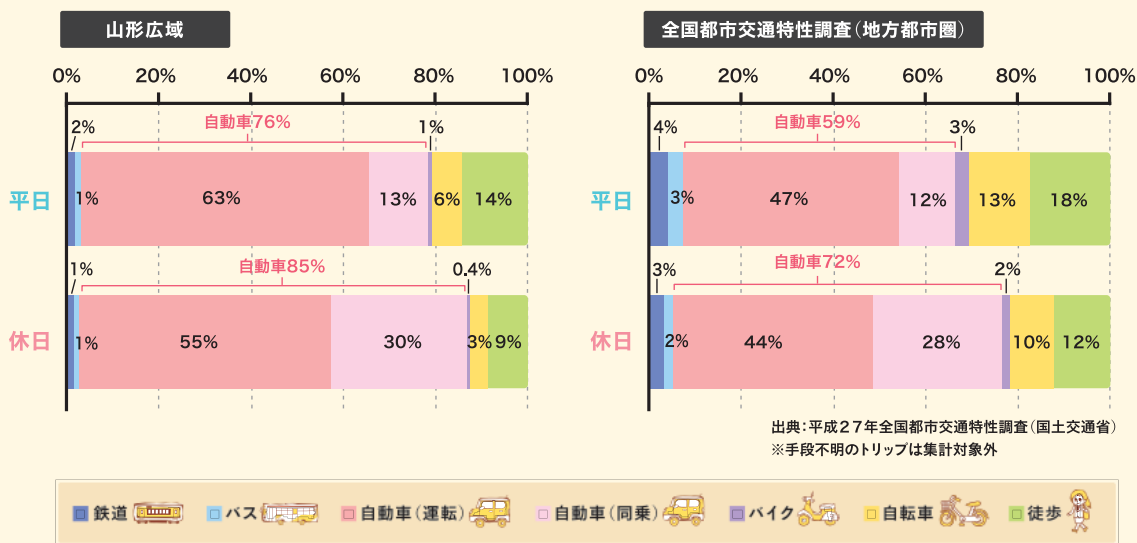
## 交通手段から見たトリップの特性

自動車で移動する割合が、4分の3を占めます。



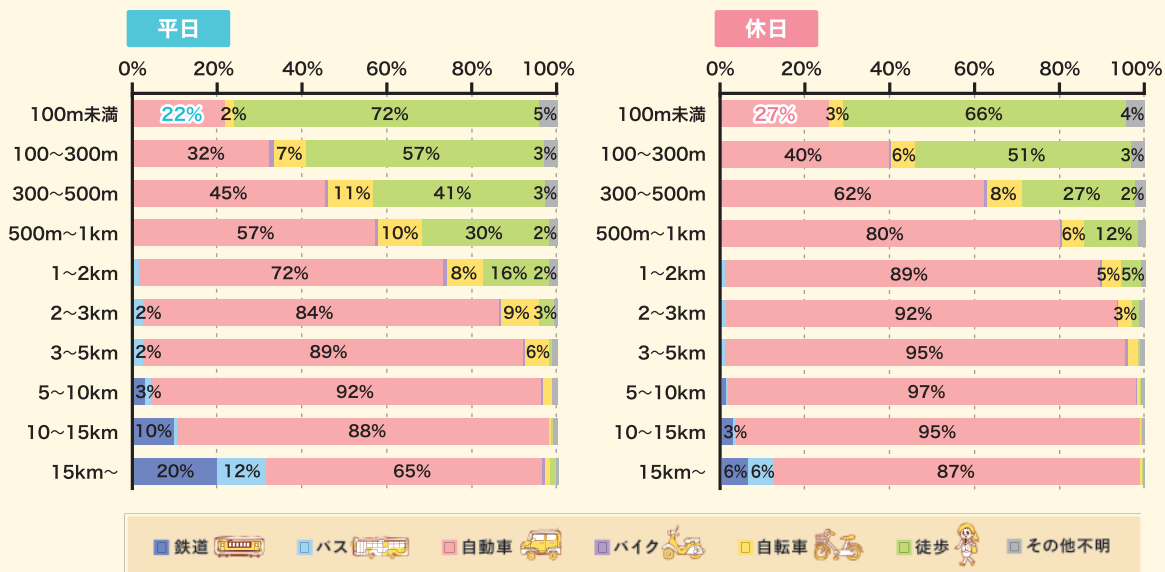
- 平日における人の動きの76%が自動車利用であり、全国都市交通特性調査の地方都市圏の平均値と比べて、自動車を利用する割合が高くなっています。
- 自動車を自ら運転して移動する人が63%を占めており、全体の半数を大きく超えていることも特徴です。
- 休日は、自動車利用がさらに高くなり、全体の85%を占めます。 休日は、自動車に同乗して移動する人の割合が高くなります。

### 代表交通手段別構成比



- 100m未満の短距離の移動でも、平日で22%、休日で27%が自動車を利用しています。

### トリップ距離帯別の代表交通手段別構成比



#### 代表交通手段

1つのトリップの中でいくつかの交通手段を利用している場合、利用した主な交通手段のことを指します。あらかじめ設定した以下の優先順位に基づいて代表交通手段を設定します。

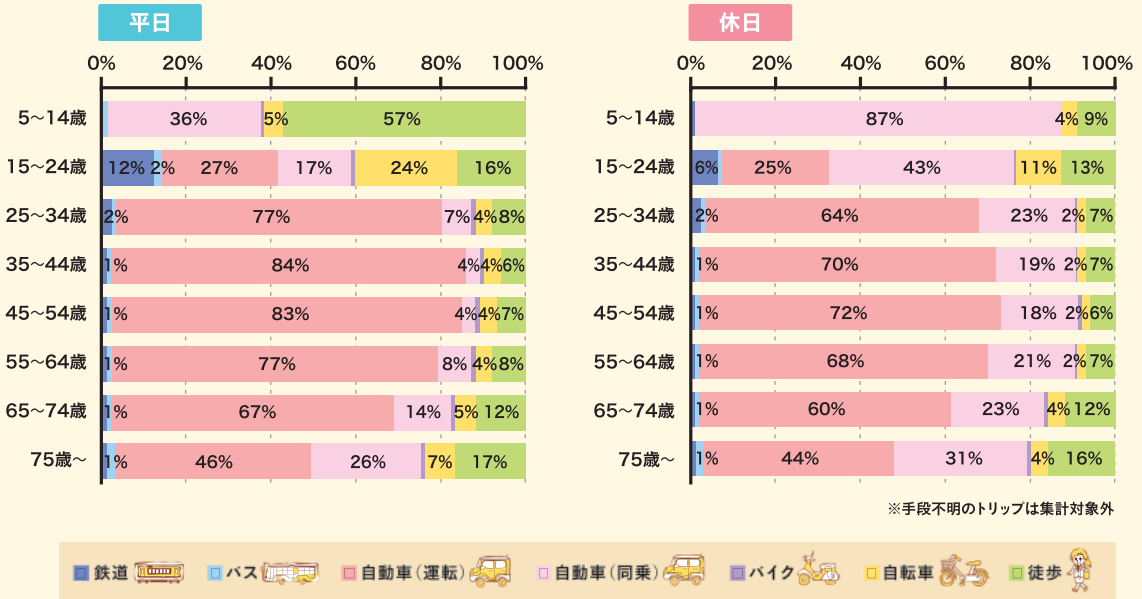
- ①鉄道 ▶ ②バス ▶ ③自動車 ▶ ④バイク ▶ ⑤自転車 ▶ ⑥徒歩



子どもから高齢者まで、自動車で移動しています。

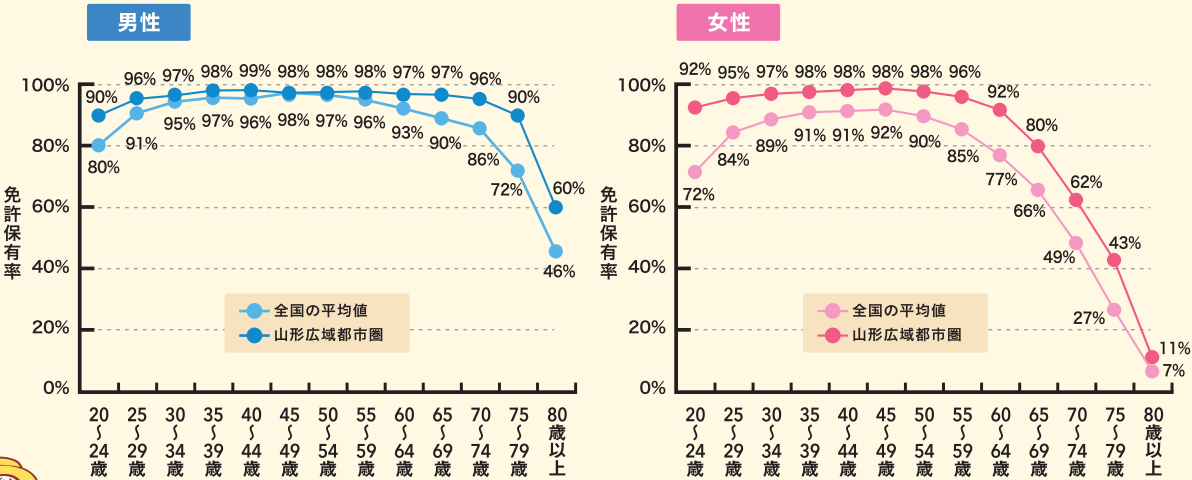
- ・外出した75歳以上の方のうち46%が、自動車を自ら運転して移動しています。
- ・平日に通学などで歩く若年者も、休日になると家族等と一緒に自動車で移動しています。
- ・休日はどの年齢層も「自動車同乗」の割合が高くなり、人に頼った移動が多くなっています。

年齢階層別・代表交通手段構成比



- ・山形広域都市圏の自動車運転免許保有率は、どの年齢層も全国の平均値と比べて高く、80歳以上の男性の60%が免許を保有しています。

性別・年齢階層別の免許保有率



※全国の平均値は「平成30年交通安全白書」に基づく平成29年末時点の値から作成  
 ※山形広域都市圏は免許有無別の拡大人口の割合から作成







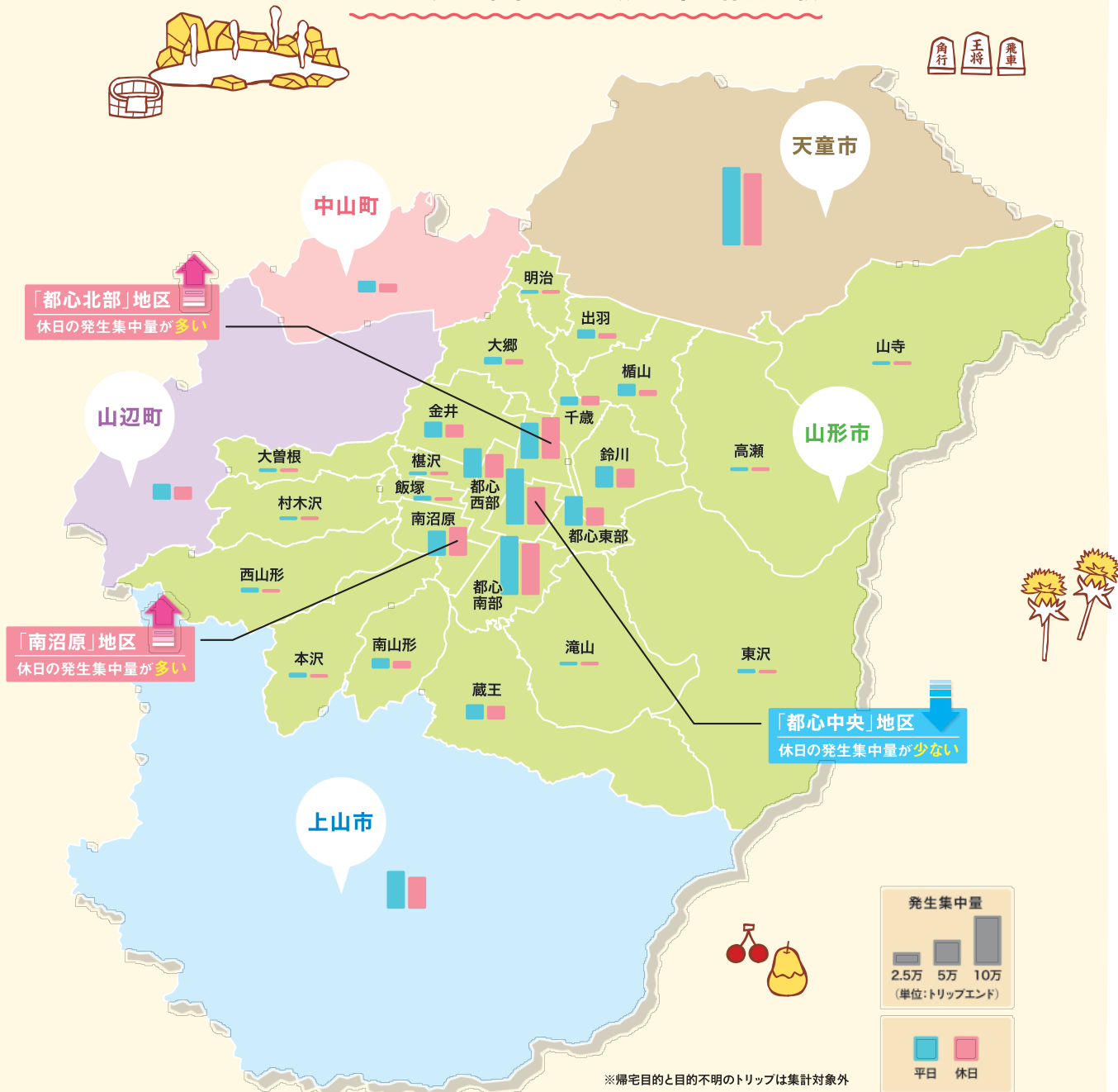
# 6

## 地域別の人の動き

平日に比べて、休日の人の動きは、大型店舗が立地する地域で多くなっています。

- 平日に比べて休日にトリップの発生集中量が少なくなる地域が多い中、大型店舗が立地する「都心北部」地区や「南沼原」地区では、発生集中量が多くなっています。
- その一方で、「都心中央」地区などの中心部で少なくなっています。

トリップ発生集中量の地域別・平日休日比較



**発生集中量**  
ある地域を起点とするトリップ数を集計したものを、その地域の発生量といいます。集中量は発生量の逆で、ある地域を終点とするトリップ数を集計したものです。ある地域の発生量と集中量の和を、その地域の発生集中量といい、単位は「トリップエンド」といいます。



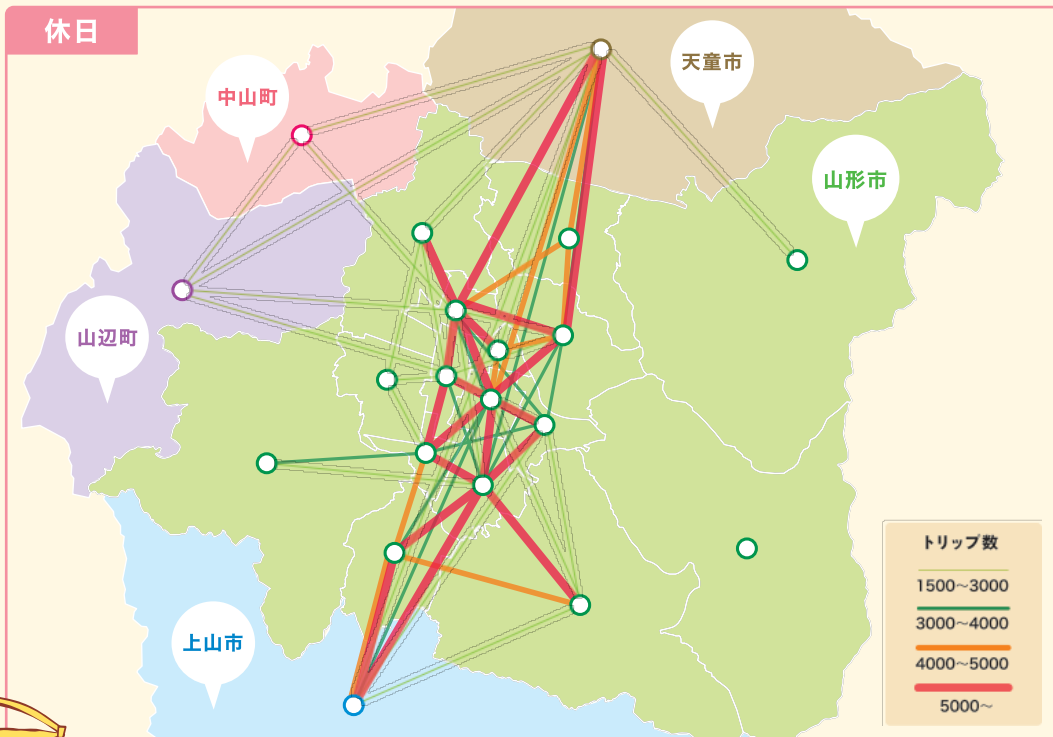
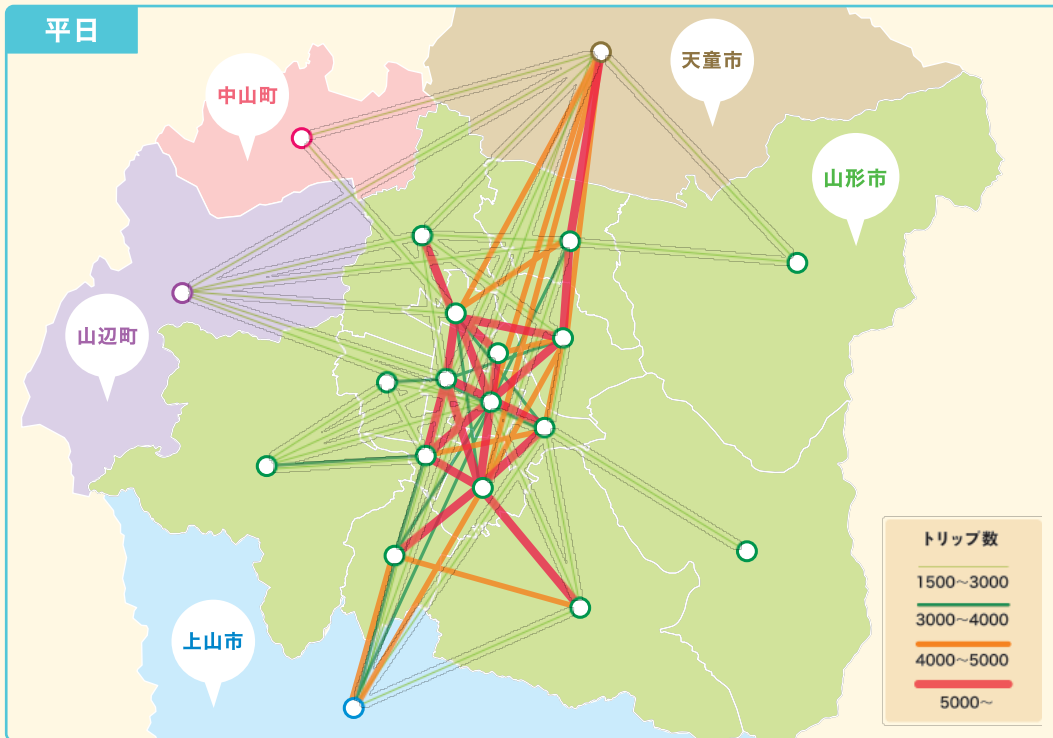
# 7

## 地域間の人の動き

山形市を中心とした人の動きになっています。

・地域間の人の動きでは、山形市中心部を核とした南北方向の動きが多くなっています。

### 地域間のトリップ数(全手段・全目的)



※山形市内は大ゾーンと呼ばれる16の地域に区分しています。大ゾーンの境界は、2ページや7ページで用いている25地域の境界を統合しながら、市街化区域の境界も目安にして設定しています。そのため、2ページや7ページの地域区分とは異なります。